

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和6年度）

1. 施設名等

施設名	別府港北浜ヨットハーバー	所在地	別府市北浜1丁目818-386
		電話番号	0977-85-7121
		ホームページ	https://sasaki-corp.jp/offices/marine/beppu/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名 称 所在地 指定期間	株式会社ササキコーポレーション 山口県宇部市港町1丁目13-5 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課 (局・室)	土木建築部 港湾課 TEL：097-506-4614
-------	--------------------	--	-----------------	-------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成22年7月1日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	海洋性レクリエーションの振興及び、別府港内の不法係留船の適正係留のため
事業内容	①北浜ヨットハーバーの維持管理及び修繕に関すること。 ②北浜ヨットハーバーの使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ③北浜ヨットハーバーの利用促進に関すること。 ④上記に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務。
施設内容	・浮桟橋（5基）64隻・ボートヤード（陸上保管）25隻 ・上架施設（ウィンチ）・フォークリフト・船台4基 ・駐車場74台・船揚場 ・給水給電施設・管理棟・外周フェンス
使用料等	浮桟橋使用料：2,200～5,450円（日：一般使用） 16,900～42,100円（月：専用使用） ボートヤード使用料：2,100～4,850円（日：一般使用） 13,100～32,500円（月：専用使用） 上架施設使用料：1,650～3,750円（1回） 給水施設：370円（1回） 給電施設：260円（1回）
閉館日	12月29日～翌年1月3日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
係船率	令和3年度	82%	98%	119.5%
	令和4年度	83%	96%	115.6%
	令和5年度	84%	98%	116.6%
	令和6年度	84%	98%	116.6%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和3年度	1,856	1,900	1,881	1,841	1,788	1,742	
	令和4年度	1,762	1,766	1,689	1,786	1,850	1,833	
	令和5年度	1,852	1,838	1,684	1,848	1,836	1,843	
	令和6年度	1,915	1,843	1,822	1,898	1,882	1,791	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和3年度	1,904	1,823	1,890	1,966	1,787	1,958	22,336
	令和4年度	1,886	1,830	1,891	1,891	1,708	1,891	21,783
	令和5年度	1,981	1,898	1,980	1,947	1,799	1,874	22,380
	令和6年度	1,983	1,902	1,941	1,846	1,657	1,841	22,321

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	3月に施設の利用者のうち更新希望者にアンケートを送付した。
	実施結果	利用者アンケート調査での結果 ・スタッフの対応: 良い24人 概ね良い14人 やや悪い1人 悪い2人 無回答5人 ・施設について: 良い15人 概ね良い20人 やや悪い3人 悪い3人 無回答5人
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
管理者のスタッフの入れ替わりが激しいため、船舶知識のある担当者の育成を望む。		社内研修制度を用い、グルーブマリーナへ知識及び技術を習得している。
栈橋上に個人の荷物を放置していることがある。		見つけ次第、電子的/印刷物を通じて利用者へ注意喚起を徹底する。
Wi-Fiが使用可能と聞いたが、公式な説明がない。		PWについて利用者へ周知徹底を図る。
船の入れ替わりが激しく、仲間としての繋がりができにくい。		利用者間の交流の場を提供できるよう、管理棟2階の使用を積極的に勧めるほか、ヤードの活用方法を検討していく。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	○ 海でのレクリエーションの際は体に塩分が付着して不快であること、また、別府温泉を利用し地域活性化へ貢献してもらうため、ビジター利用者へのサービスとして、別府八湯温泉本の販売を行った。 ○ 安心してビジターが入港できるように、スタッフが係留場所まで誘導した。
イベント等の充実	○ 毎年度、九州UMIアカデミーを開催し、小中学生を対象にしたシーカヤック体験など海洋性レクリエーションの振興に積極的に取り組んでいる。令和6年度は、立命館アジア太平洋大学の環境系サークル「ECOS」に協力を依頼し、子供に英語でコミュニケーションを取り英会話、国際交流の体験とSDGsの講習を行った。参加者は77名。 ○ 免許取得希望者をチラシ・HP等で募り、免許スクールを開催した。 ○ キッチンカーを誘致し、利用者の満足度の向上に努めた。

8. 管理に係る収支の状況

(単位: 千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入額(A)		12,372	19,169	27,219	24,973
内訳	県からの委託料	9,864	15,688	16,068	16,597
	利用料金				
	事業収入	550	693	593	624
	自主事業収入	1,958	2,680	10,481	7,413
	その他(雑入)	0	108	77	339
支出額(B)		13,337	14,895	22,916	23,918
内訳	人件費	6,497	6,556	8,194	7,195
	維持管理費	5,522	5,718	5,998	6,589
	事業費	440	713	600	663
	自主事業費	878	1,908	8,124	9,471
	その他(〇〇, 〇〇)				
収支差額(A-B)		-965	4,274	4,303	1,055

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和3年度	9,862	1,646	843	1,412	700	770	
	令和4年度	9,201	1,536	1,089	2,082	940	1,723	
	令和5年度	9,561	327	545	2,436	954	273	
	令和6年度	8,373	1,475	1,064	1,727	939	728	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和3年度	2,614	962	787	2,289	507	468	22,860
	令和4年度	1,938	874	619	1,788	840	470	23,100
	令和5年度	2,801	1,275	524	1,858	1,071	449	22,074
	令和6年度	2,154	1,387	509	2,199	213	458	21,226

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	ササキコーポレーション本社からスタッフを派遣 館長1名、リーダー1名、スタッフ4名の計6名体制								
	職員数 (R6.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		2		3		1			

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資 質・能力の 向上	○ 施設メンテナンスの研修を行い、施設の維持管理に必要な知識の習得に努めた。
防災に関す る研修・訓 練	○ 気象研修等を行い、マリーナに必要な知識の収集を行っている。
安全対策 等	○ 施設・設備の保守点検として浮桟橋、上架施設の保守点検を毎日実施している。 ○ 警備業務は警備会社へ委託し、夜間巡礼を毎日実施している。